

フロイント産業株式会社

2017年2月期 第2四半期決算説明会



(証券コード 6312)

2016年10月14日

目次

I.	2017年2月期第2四半期決算概況	P2
II.	今期の重点施策及び状況	P14
III.	2017年2月期の業績・配当予想	P26
	＜参考資料＞ ＜Fact Sheet＞	P30 別紙

I .2017年2月期 第2四半期の決算概況

決算概況

- ジェネリック医薬品メーカー向けの機械販売堅調で増収、増益。

(単位:百万円)

	2016/2 上期	2017/2 上期		前年同期比増減	
	金額	実績	期初計画	金額	%
売上高	7,697	8,762	8,000	+1,065	+13.8
営業利益	198	687	370	+489	+247.0
経常利益	252	708	370	+456	+180.9
上期純利益	123	306	240	+183	+148.7
一株純利益(円)	7.17	17.77	13.92	+10.6	+147.8
設備投資	83	318	-	+235	+283.1
減価償却費	163	155	-	△8	△4.9
研究開発費	275	285	-	+10	+3.6

【機械部門】 概況

- GE医薬品業界の設備投資意欲旺盛で受注は高水準を持続。
- 医薬、産機とも販売堅調。
- 産機向けは、大型案件により大幅伸長。

(単位:百万円)

	2016/2 上期		2017/2 上期	
	金額	前同比 (%)	金額	前同比 (%)
受注高	6,733	+8.6	8,406	+24.8
受注残高	8,676	+19.9	9,765	+12.6
売上高	4,992	+23.5	5,697	+14.1
医薬品関連	4,535	+24.7	4,559	+0.5
産業関連	457	+12.0	1,138	+149.0
営業利益	152	+21.6	567	+273.0
為替(円/ドル: +は円安)	120.3	+17.8円/ドル	111.7	△8.6円/ドル

【機械部門】 グループ動向

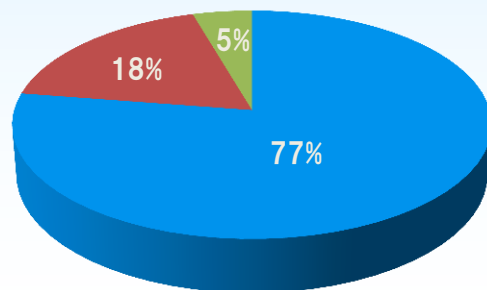
- 国内GE薬向け及び産機向けの売上が好調。
- 北米向け好調だが、収益計上時期が下期偏重で上期のF・ベクターは営業赤字。

(単位:百万円)

	2016/2 上期		2017/2 上期	
	金額	前同比 (%)	金額	前同比 (%)
売上高	4,992	+23.5	5,697	+14.1
単体	3,529	+27.1	3,990	+13.0
FREUND・VECTOR社	1,241	△3.6	1,253	+1.0
フロイント・ターボ社	398	△4.6	706	+77.3
営業利益	152	+21.6	567	+273.0
【主要子会社】				
FREUND・VECTOR社	△100	—	△14	—
フロイント・ターボ社	△28	—	43	—
【地域別売上高】				
日本	3,391	+31.3	4,195	+23.7
北米・南米	807	△22.1	1,104	+36.8
欧州・アフリカ	328	+228.9	263	△19.8
中東・アジア・大洋州	465	+43.7	134	△71.2

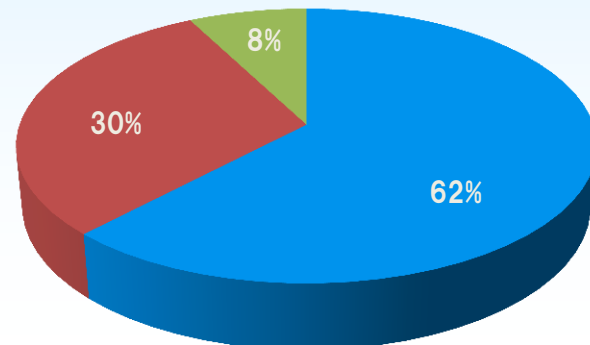
【機械部門】 受注残高

(2016/2末)
70.8億円

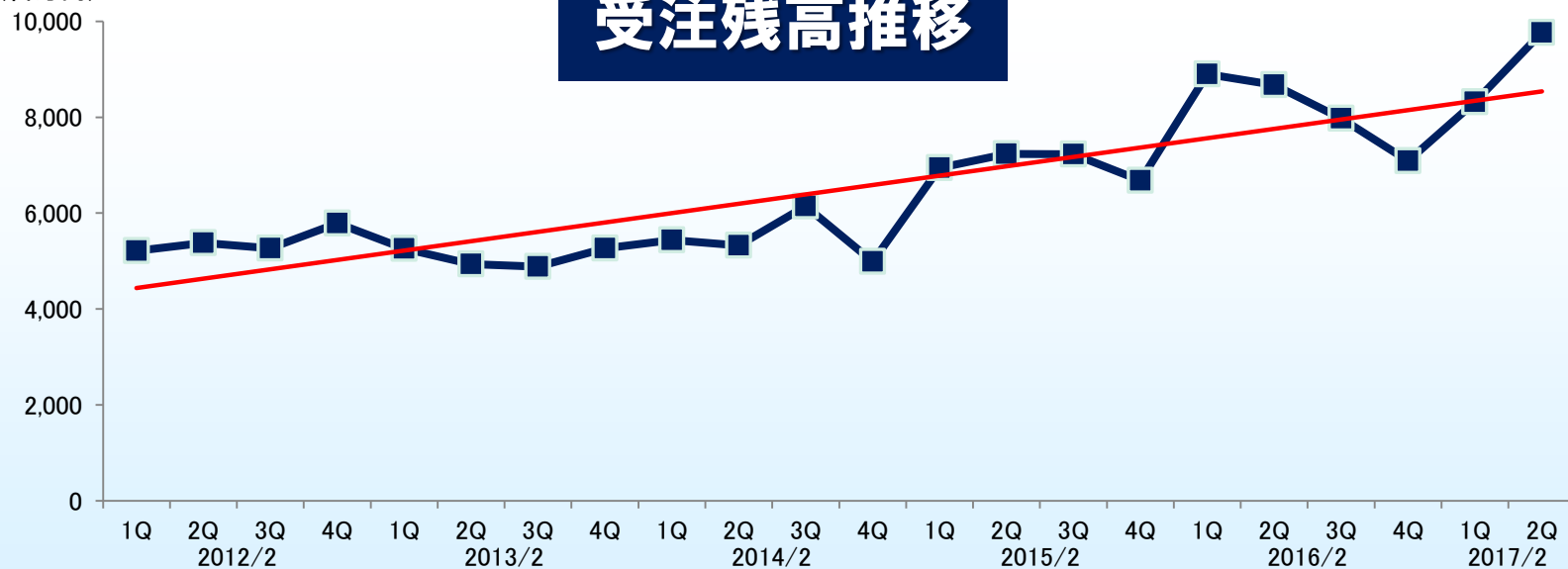


■ フロイント産業
■ F・ベクター
■ F・ターボ

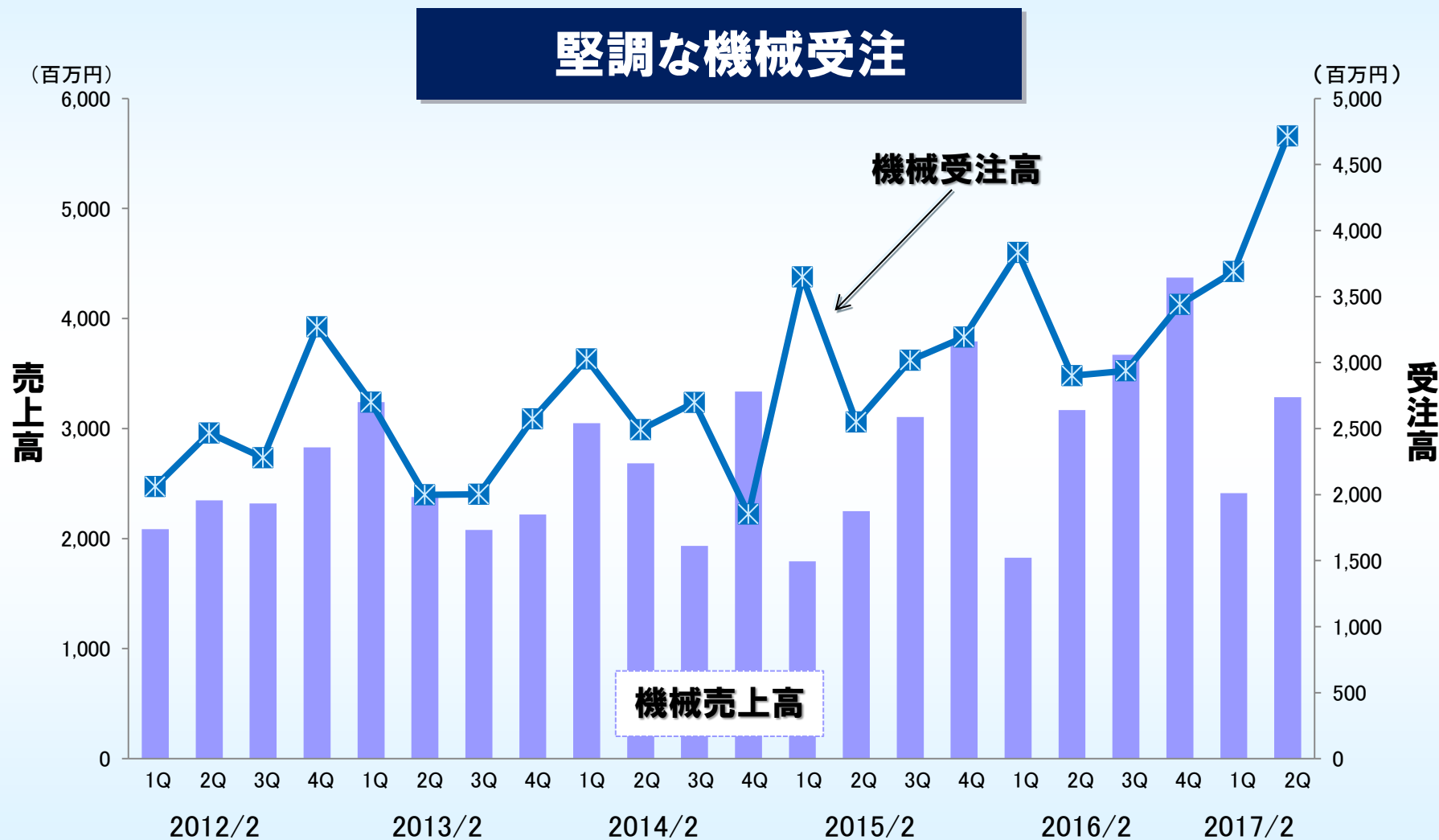
(2016/8末)
97億円



(百万円)



【機械部門】 四半期毎の受注動向



【化成品部門】 概況

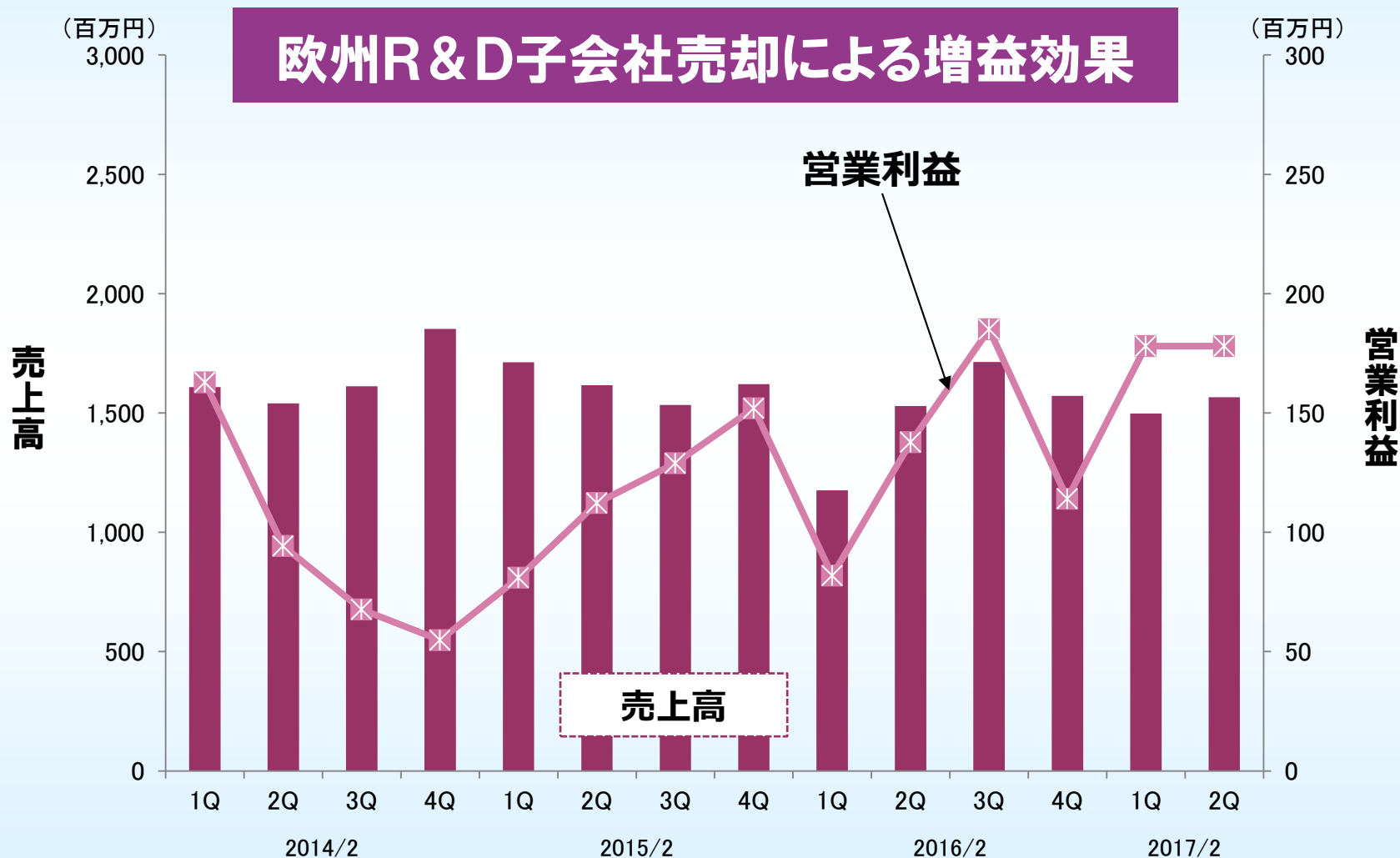
- GE薬向け医薬添加剤が増加。新規食品は顧客の生産調整がプラスに寄与。
- プロダクトミックス改善とR&Dコスト大幅減で営業利益増加。
- 食品品質保持剤は、計画未達。

(単位:百万円)

	2016/2 上期		2017/2 上期	
	金額	前同比 (%)	金額	前同比 (%)
売上高	2,704	△18.7	3,065	+13.4
医薬品添加剤	994	△7.2	1,150	+15.7
食品品質保持剤	956	+2.2	927	△3.0
新規食品	753	△42.9	987	+31.0
(輸出売上高)※1	52	+29.1	51	△1.9
営業利益	219	+13.6	357	+63.0

※1 仕向地:インド・韓国・台湾

【化成品部門】 四半期毎の動向



要約損益計算書

(単位:百万円)

	2016/2 上期		2017/2 上期		前年同期比増減	
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)	金額	%
売上高	7,697	100.0	8,762	100.0	1,065	+13.8
売上原価	5,266	68.4	5,900	67.3	634	+12.0
売上総利益	2,431	31.6	2,862	32.7	431	+17.7
販管費	2,232	29.0	2,175	24.8	△57	△2.6
営業利益	198	2.6	687	7.8	489	+247.0
営業外損益	53	0.7	39	0.4	△14	△26.4
経常利益	252	3.3	708	8.1	456	+181.0
特別損益	△2	0.0	△230	△2.6	△228	-
税引前利益	249	3.2	478	5.5	229	+92.0
純利益	123	1.6	306	3.5	183	+148.8

営業外損益

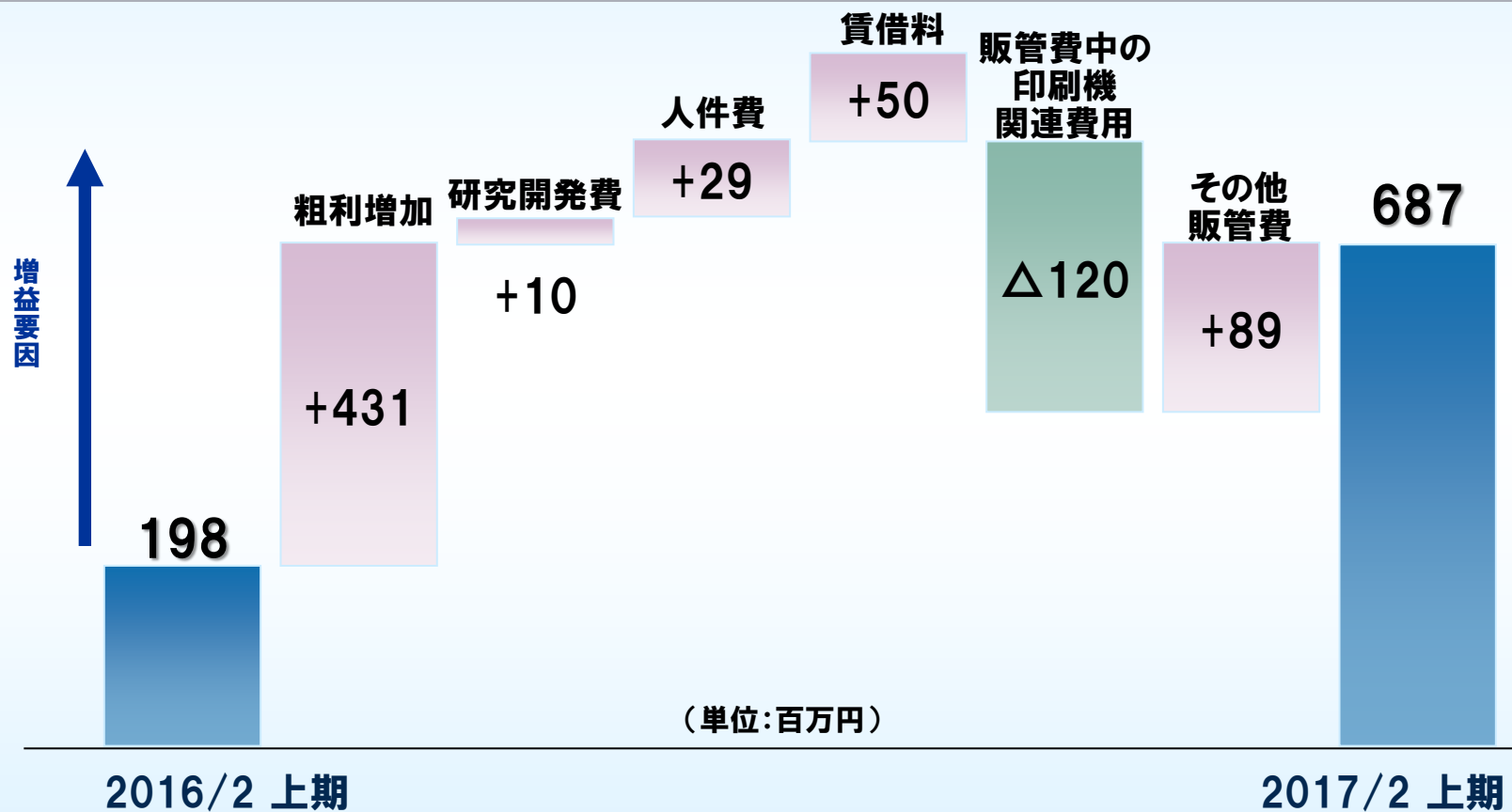
- ・営業外収益 → 39
- ・営業外費用 → 18

特別損益

- ・有価証券売却益 → 22
- ・役員退職慰労金 → △250

営業利益増減分析

- 増収効果、錠剤印刷機開発費用の一巡などにより大幅増収。



要約貸借対照表

(単位:百万円)

	2016/2末	2016/8末	増減額
流動資産	13,053	14,321	+1,268
現金及び預金	4,042	4,900	+858
売上債権 ※1	5,694	4,994	△700
棚卸資産	2,432	3,578	+1,146
固定資産	4,153	4,047	△106
有形固定資産	3,135	3,210	+75
無形固定資産	182	80	△102
投資その他資産	835	756	△79
資産合計	17,206	18,369	+1,163

棚卸資産 +1,146百万円

- ・商品・製品 +70
- ・仕掛品 +953
- ・原材料・貯蔵品 +123

無形固定資産

- ・会計基準変更に伴う
のれんの減少分 △77
- ・ソフトウェア(基幹システム)
償却費 △25

流動負債	5,315	6,782	+1,467
仕入債務 ※1	2,580	3,341	+761
前受金	1,288	2,443	+1,155
固定負債	361	339	△22
退職給付に係る負債	194	189	△5
負ののれん	11	-	-
負債合計	5,677	7,122	+1,445
純資産合計	11,529	11,246	△283

※1 電子記録債権債務含む

要約キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	2016/2 上期	2017/2 上期
営業キャッシュ・フロー	472	1,480
税引前利益	249	478
減価償却費	163	155
売上債権の増減額(△は増加)	743	626
棚卸資産の増減額(△は増加)	△1,045	△1,326
前受金の増減額(△は減少)	716	1,281
仕入債務の増減額(△は減少)	165	774
法人税等の支払額	△313	△94
投資キャッシュ・フロー	△278	△268
有形固定資産の取得による支出	△160	△342
財務キャッシュ・フロー	△299	△247
有利子負債の純増減額	-	-
配当金の支払額	△257	△215
現金及び現金同等物 期中増減額	△99	858
現金及び現金同等物 期末残高	4,448	4,900

II. 今期の重点施策及び状況

第6次中期経営計画

中長期的な目標

海外売上比率40%

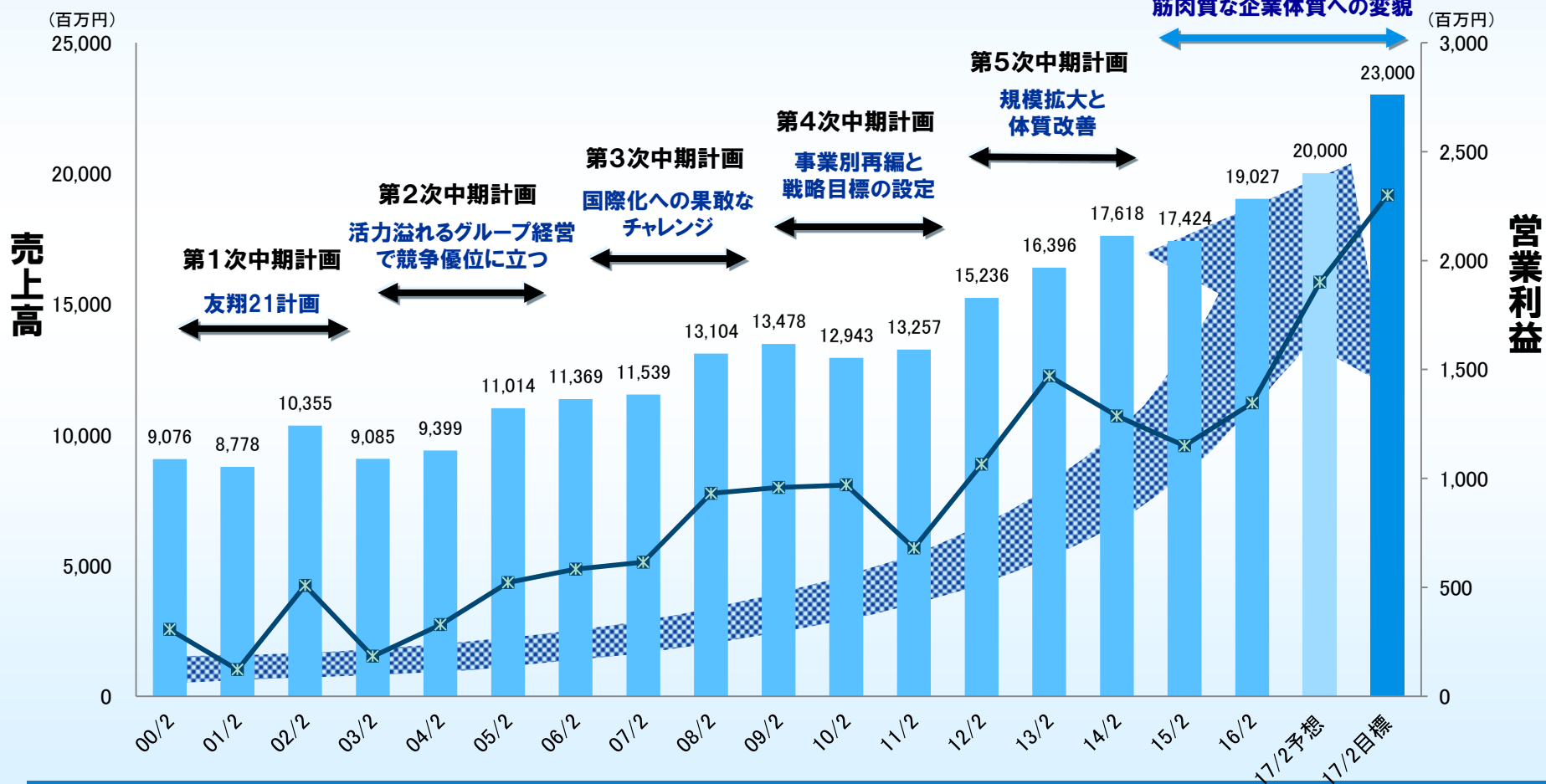
売上高営業利益率10%

ROE8%以上

「100年企業に向けた第二の創業へ
Change & Challenge」

2017年2期目標

■ 売上高 230億円
■ 営業利益 23億円
(為替前提：USD:100円、€:145円)



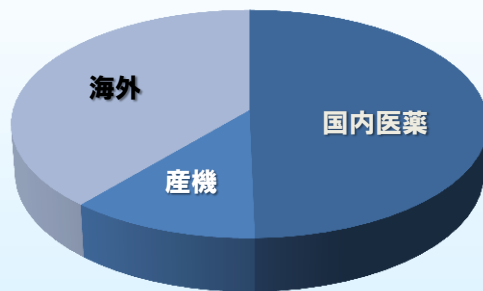
事業部別重点戦略①

機械部門

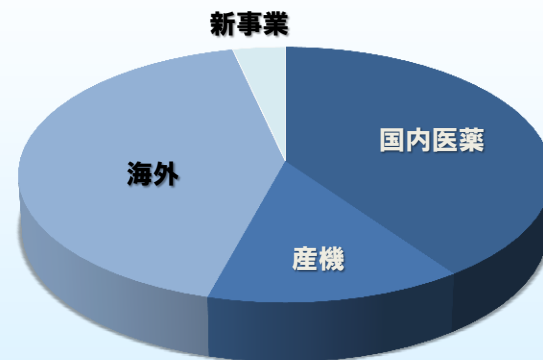
…グローバル展開加速と製品開発強化

- 国内 :競争力強化
- アジア :中国、インドに戦力集中
- 米州 :新規顧客開拓と新製品販売に注力
- 欧州 :スマイリーエリアでの販売強化
- 産機 :健康/食品向け強化と電池業界への本格参入
- 開発 :市場ニーズにマッチした新製品開発とスピードアップ
- 生産 :フロイント・ベクターの工場増設と海外で部品生産検討

14/2期
110億円



17/2期計画
142億円

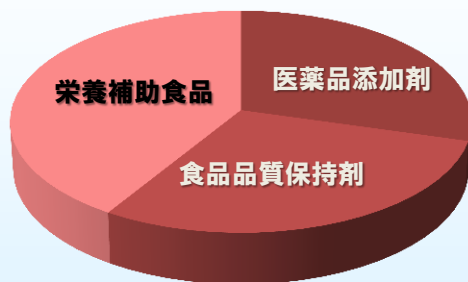


事業部別重点戦略②

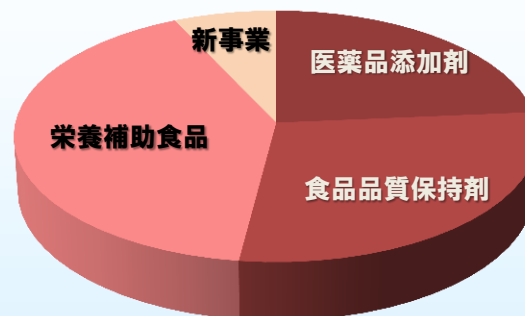
化成品部門 ……新製品拡充と既存品の競争力強化

- 医薬品添加剤 : 先発・GE薬の取り込み
- 栄養補助食品 : 既存品の受注強化と新規事業開発
- 食品品質保持剤 : 製品ラインアップの拡充と営業強化
- 開発 : スピードアップと最低年間で1品目上市
- 生産 : 生産拠点統合やライン共有化でコスト削減

14/2期
66億円



17/2期計画
88億円



- ジェネリック薬メーカー向け営業強化
- 海外受注強化策の深耕
- グループ技術の融合強化
- 新製品の市場投入と製品ラインアップ追加
- 産機のシナジー追及
- メンテナンス事業の本格立ち上げ
- 協力工場の拡充（4社体制 → 6社体制）

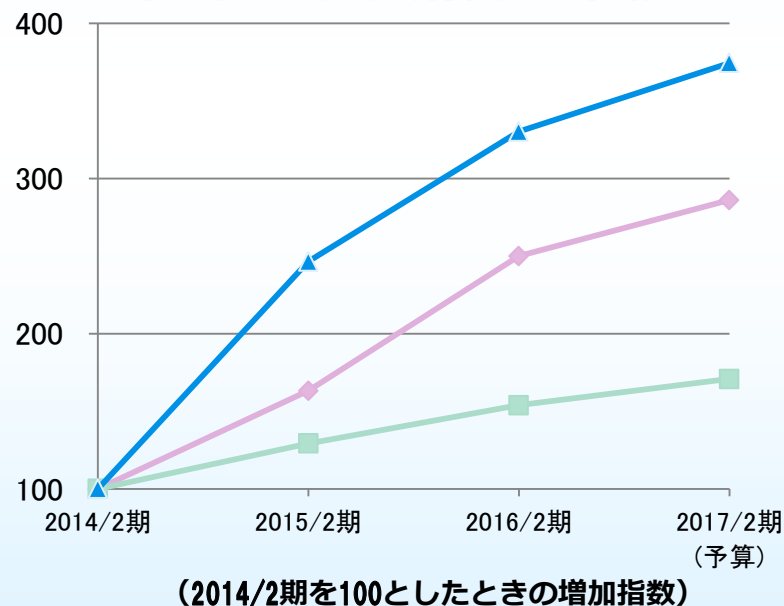
想定以上の政府のジェネリック医薬品普及目標
60%→80%への指標引上を受けて

機械受注の状況

（単位：百万円）

	2016/2期 上期	2017/2期 上期
国内受注	3,946	5,462
受注高	6,733	8,406

ジェネリック薬大手3社向け 医薬品添加剤売上推移



今期の状況③（ジェネリック薬メーカー対応）

- GE薬拡大期の設備投資需要増への対応。
- GE薬向け医薬品添加剤の拡販。

生産数量（錠数）推定 当社を取り巻く外部環境（業界動向）



今期の状況④（グループ資源の有効活用）

生産面

海外向け仕様のハイコーター
(ハイコーターオリジナル)

製産



受注・販売
(インド他
アジア圏向けに販売)

FREUND-VECTOR

フロイント産業

開発・販売面

F：フロイント産業 F-V：FREUND-VECTOR
F・T：フロイント・ターボ

	開発	販売
ハイコーター FZ	F	F、F-V
グラニュレックス	F	F、F-V
スフェレックス	F	F、F-V
Comp 4（制御システム）	F-V	F、F-V
フローコーター 12 b a r	F-V	F、F-V
ターボスクリーナー	F・T	F・T、F-V

フロイントグループの事業ポートフォリオ

※1 事業分野における「△」は、一部製品供給を行っていることを示します。
※2 内製工程における「△」は、一部製造委託を含むことを示します。

部門	事業会社	事業分野 ※1		内製工程 ※2		
		医薬品	非医薬品	開発・設計	製造	テスト
機械	フロイント産業	○	○	○	—	○
	FREUND-VECTOR	○	△	○	○	○
	フロイント・ターボ	△	○	○	○	○
化成品	フロイント産業	○ (医薬品添加剤)		○	△	○
			○ (機能性食品原料)	○	○	○
			○ (食品品質保持剤)	○	△	○

今期の状況⑤（エリア分担のグローバル展開）



当社グループでは、代理店網強化によるマーケティング拠点の増強、主要エリアにおけるデモセンターやラボの拡充により、市場・お客様ニーズに沿った事業展開を進めております。FV社が展開する北米・中南米・欧州・中東エリアでは、ジェネリック医薬品メーカーが多く存在する欧州・中東の“スマイリーエリア”での販売を強化すべく、伊ミラノのデモセンターにラボを設置しております。一方、F産業社が担当するアジアエリアでは、戦略地域をインド、中国、台湾及び韓国に絞り込み、同地域での代理店網の整備、市場拡大を進めております。

今期の状況⑥-1 (TABREX.Rev)

- 開発期間:2015年1月～2016年6月
- 上市:2016年7月1日
- 販売開始:同年9月1日
- 現在、ユーザーの引合い・テスト中



錠剤印字サンプル

錠剤印刷装置
TABREX Rev.
(外観検査機能搭載型)



今期の状況⑥-2 (TABREX.Revの機構)

1) 生産規模に自在に対応できるフレキシビリティ

モジュラー方式

生産規模に応じて連結台数を自在に増減でき、将来の生産変動にもフレキシブルに対応できる、モジュラー方式としました。

10万錠/時

30万錠/時

50万錠/時

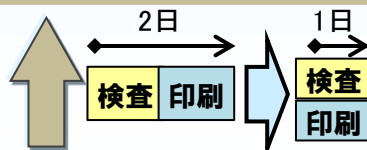
装置の小型化
高さ1800mm、巾1090mm

単列搬送のシンプルなメカ

錠剤を、円盤のエッジに一列に吸着させ、円盤から円盤へ受け渡ししながら、検査と印刷を行います。

2) 工程短縮・ランニングコスト低減

検査工程の追加不要



外観検査機能の装備

印刷前に錠剤の外観を検査します。

メンテナンスが容易

カートリッジ式の印刷ヘッドなので、洗浄が不要、交換が容易で、使うぶんだけを購入できます。

カートリッジ式ヘッド

印刷ヘッドはワンタッチで交換できるカートリッジ式です。

3) 錠剤品種への対応が容易

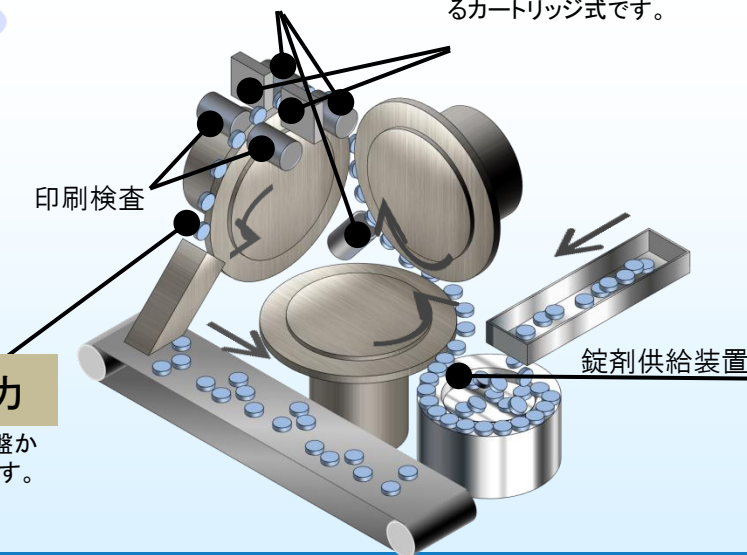
品種切替えが容易

大幅な部材追加や調整なしで、サイズちがいの錠剤に切り替えができます。



ガイドレスの錠剤搬送

錠剤の外周をガイドレスで円盤のエッジに吸着させ、ピックアップしています。



Ⅲ.2017年2月期の業績・配当予想

業績予想

- 機械部門の伸長で化成品部門の落ち込みを吸収し、収益回復を見込む。
- 9月26日：上期上方修正。通期は期初ガイダンスの変更なし。

(単位:百万円)

	2016/2期	2017/2期 (予想)	前年比増減	
			(百万円)	%
売上高	19,027	20,000	+973	+5.1
営業利益	1,346	1,900	+554	+41.2
経常利益	1,394	1,900	+506	+36.3
純利益	961	1,180	+219	+22.8
一株純利益 (注)	55.74	68.43	+12.69	
設備投資	266	300	+34	
減価償却費	321	320	±0	
研究開発費	687	700	+13	

(注) 2016/3/1付けで株式分割1対2を実施しており、一株利益は分割調整後に修正しております。

部門別収益見通し

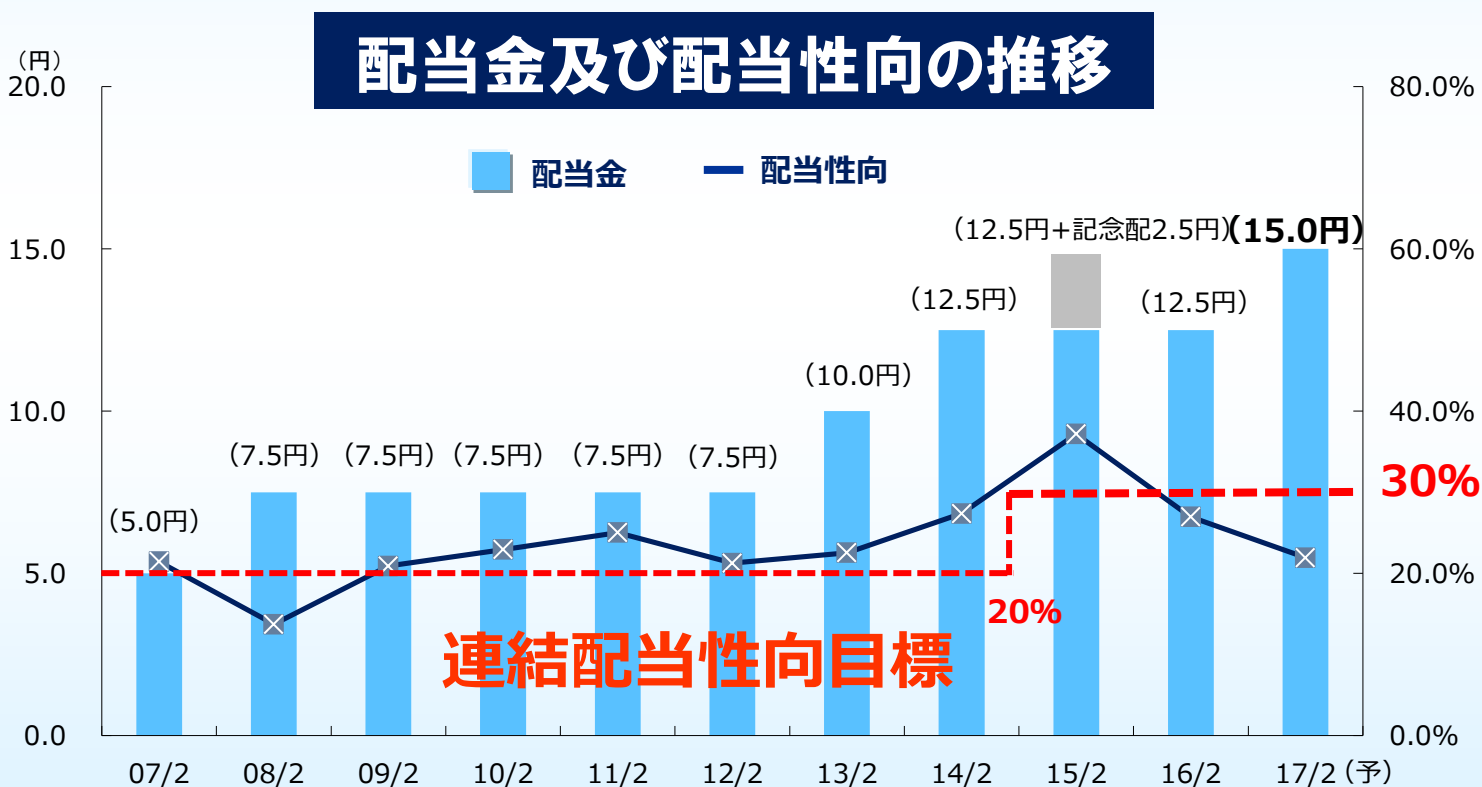
- 機 械 部 門:国内・アジア向け伸長で増収を計画。
- 化成品部門:欧州R&D子会社の売却、セグメント内ミックスの変化により減収・増益を計画。

(単位:百万円)

	2016/2期		2017/2期(予想)		前年比増減	
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)	(百万円)	%
連結売上高	19,027	100.0	20,000	100.0	+972	+5.1
機械部門	13,037	68.5	14,150	70.7	+1,113	+8.5
化成品部門	5,990	31.5	5,850	29.3	△140	△2.3
セグメント利益	1,346	100.0	1,900	100.0	+553	+41.1
機械部門	1,189	88.3	NA	-	-	-
化成品部門	519	38.6	NA	-	-	-
全社、消去	△362	△26.9	NA	-	-	-
為替(円/ドル: +は円高)	121.1	-	105.0	-	+16.1	-

配当予想

- 年間の連結配当性向目標は30%。
- 一株当たり配当金は15円を計画。



(注) 2016年3月1日付けで株式分割1対2を実施しており、16/2期以前の配当金は分割調整後の金額です。

(参考資料)

- ・プロフィール
- ・セグメント情報
- ・四半期業績推移

プロフィール

●社名	：フロイント産業株式会社
●設立	：1964年4月
●代表者	：代表取締役社長 伏島 巖
●所在地	：東京都新宿区西新宿六丁目25番13号
●資本金	：10億3,560万円（2016年2月末現在）
●売上高	：190.2億円（2016年2月期：連結）
●従業員数	：382名（2016年2月末現在：連結）
●事業内容	：機械事業・・・造粒・コーティング装置等の製造販売 化成品事業・・医薬品添加剤、食品品質保持剤等の製造販売
●関連会社	：FREUND-VECTOR、フロイント・ターボ株式会社

当社グループ°

独創的技術でのグローバル化を積極的に推進



ビジネスモデルの特徴はPenとInk

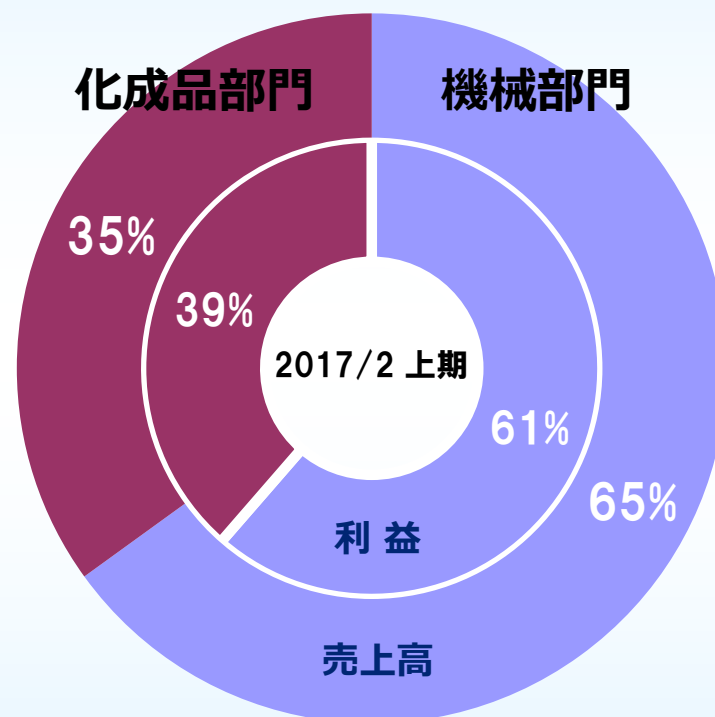
1. 機械部門 (Pen)

- 医薬品、食品、ファインケミカルなどのさまざまな分野向けに**造粒、コーティング装置**などを製造・販売。
- コーティング装置の**国内販売シェアはトップ**。アジア市場に加え、米国子会社の欧・米展開も加速。**世界で製剤技術と機械装置を唯一共有**する。
- 造粒・コーティング技術に**粉碎・分級技術**を融合させることで産業向け装置の拡販も注力。

2. 化成品部門 (Ink)

- **医薬品添加剤、食品品質保持剤、栄養補助食品**などを製造・販売。
- 医薬品添加剤は、GMP※1対応設備で生産。
- 食品品質保持剤は、さまざまな食品の品質保持に利用され、安全な食生活に役立つ。
- 造粒・コーティング技術を用い、ユーザーとの共同開発で栄養補助食品やシームレスミニカプセルを商品化。

セグメント別 売上高及び利益構成



連結売上高 87.6億円
連結営業利益 6.8億円

※1 GMP : Good manufacturing Practice

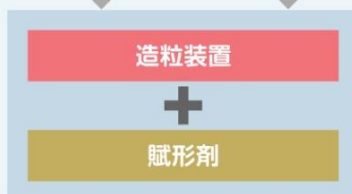
グループ経営力（医薬品関連ビジネスモデル）

医薬品の製造工程に基づくフロイントグループの事業領域

フロイントグループのビジネスフィールド



機械部門と化成品部門をコアコンピタンスにユニークな製品を供給



国内	フロイント産業 フロイント・ターボ	フロイント産業	フロイント産業	フロイント産業
海外	(フロイント・ターボ)	フロイント産業 FREUND-VECTOR	フロイント産業 FREUND-VECTOR	—

非医薬品分野事業
の拡充

グローバル事業
の強化

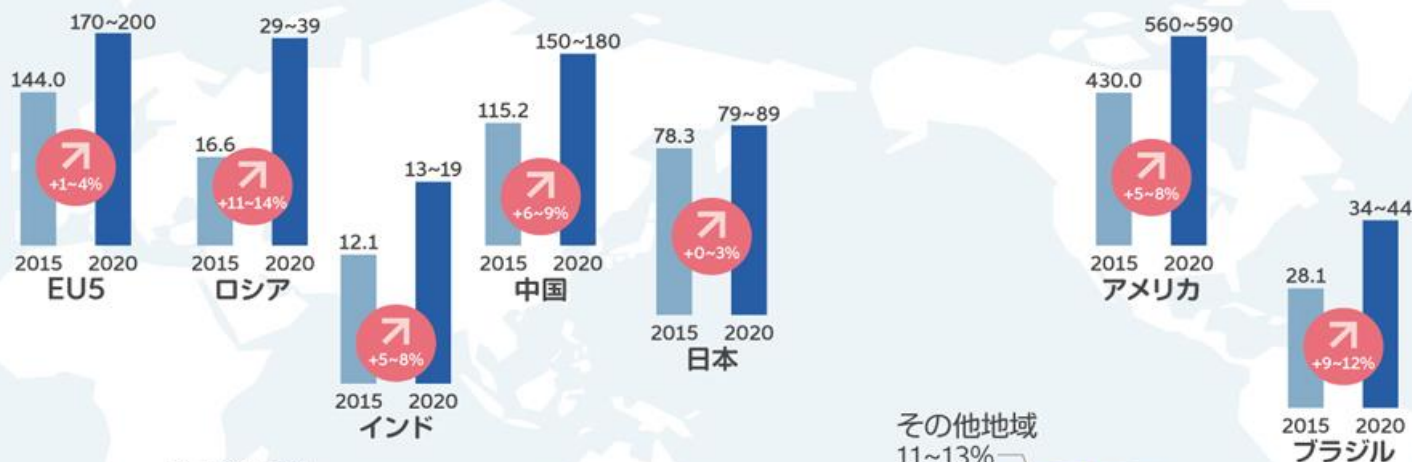
新規領域
への参入

第6次中期経営計画期間の環境想定

世界医薬品市場は途上国が急拡大

地域別・主要国の医薬品支出

(単位: 10億米ドル)



出所: IMS Market Prognosis, October 2015

注: 1. US\$建て支出は変動為替レートにより計算

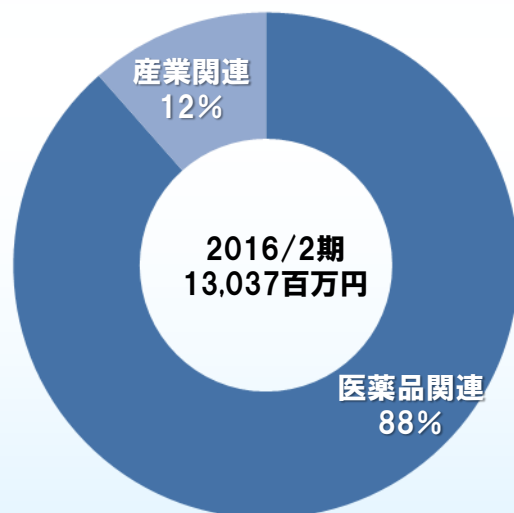
2. US\$建て年平均成長率 (CAGR) は、2015年第2四半期時点の恒常為替レートにより計算

3. 欧州5か国は、ドイツ、フランス、イタリア、スペイン、英国

医薬品会社向け造粒・コーティング装置が主力

- 機械部門は、医薬品向け業界が88%、産業機械向けが12%。
- 医薬品会社向けの造粒装置やコーティング装置が主力。
- 産機向けも注力中。

向け先別売上構成 (2016/2期)



シームレス ミニカプセル装置 (スフェレックス)



自動錠剤コーティング装置 (ハイコーター FZ)



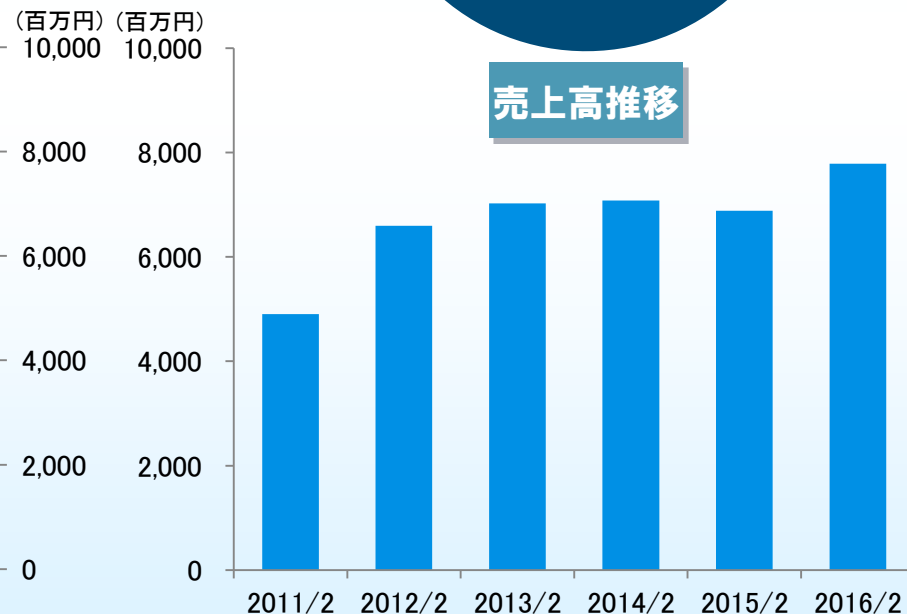
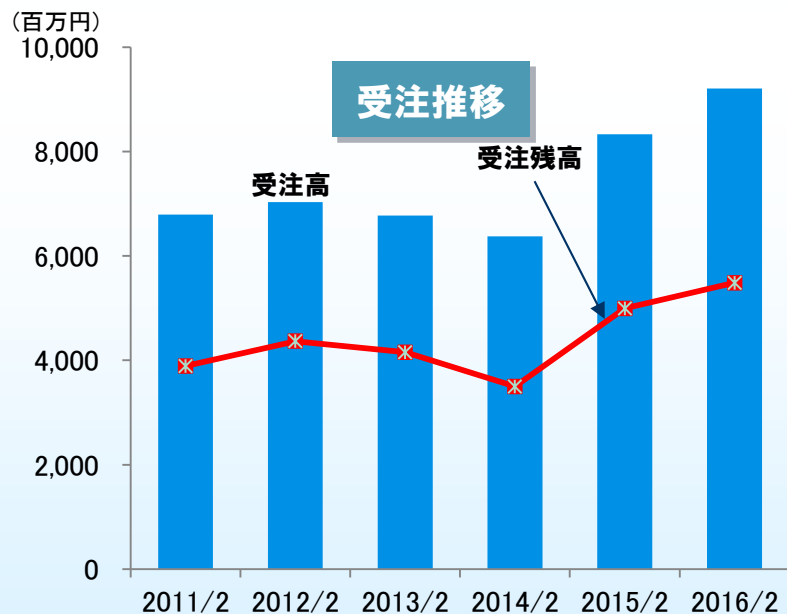
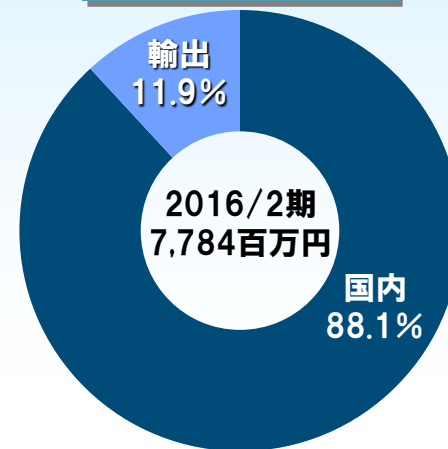
流動層造粒装置 (フローコーター)



単体の動向

- 医薬向けが牽引。
- 受注は国内、アジアとも医薬向けが好調。

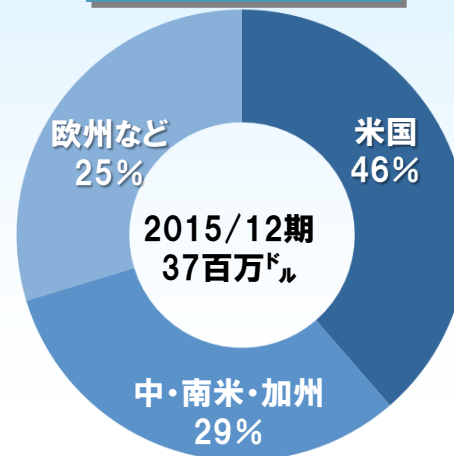
地域別売上高



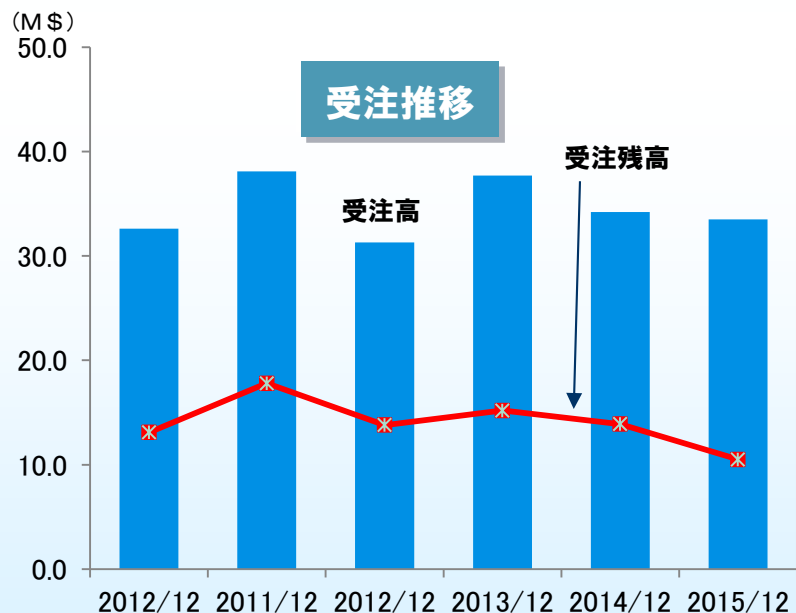
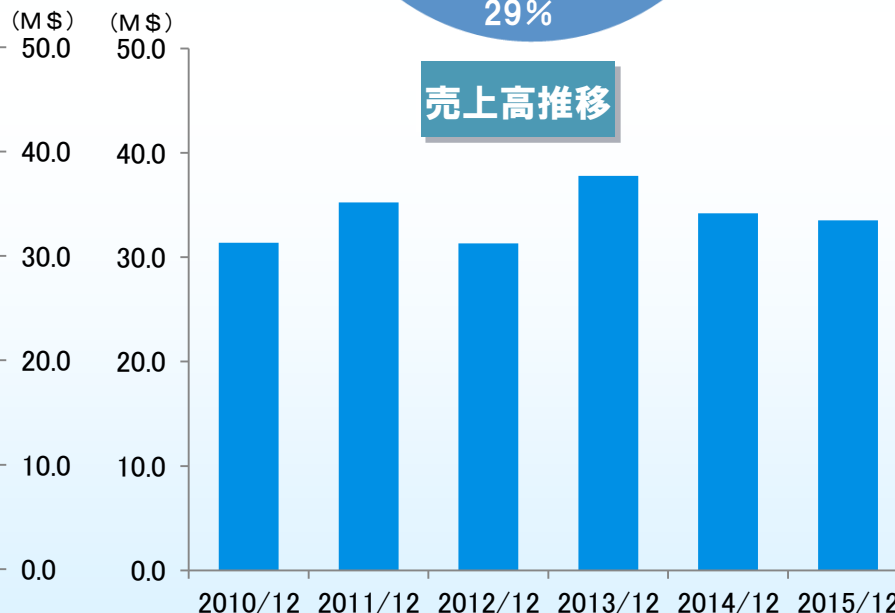
FREUND-VECTOR社の動向

- 工場建屋の増設。
- ミラノのデモセンターラボは順調な立ち上がり。
- 6月アヘマ(独展示会)で、本格的にPR。

地域別売上高



売上高推移



ヘルスケア関連も拡大する製品群

- 医薬品添加剤、食品品質保持剤、栄養補助食品などの受託品が約1/3。
- GE薬向け医薬品添加剤の拡販が続く。
- サプリメントの受託製造好調。

医薬品添加剤

- ・直打用マンニトール・乳糖
- ・球形顆粒
- ・吸着剤・固形化剤・流動化剤
- ・白色着色剤
- ・滑沢剤
- ・光沢剤
- ・賦形剤



食品品質保持剤

- ・食品添加剤
- ・食品品質保持剤



栄養補助食品・他

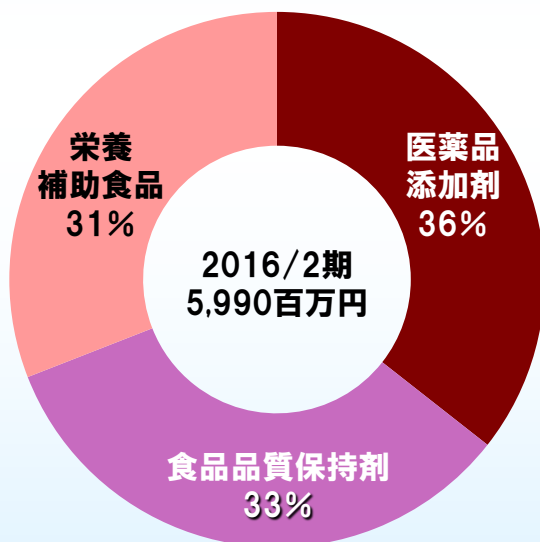
- ・シームレスミニカプセル
- ・AQshelax(水性シェラック液)
- ・サプリメント
- ・コエンザイムQ10(40%水分散型粉末)



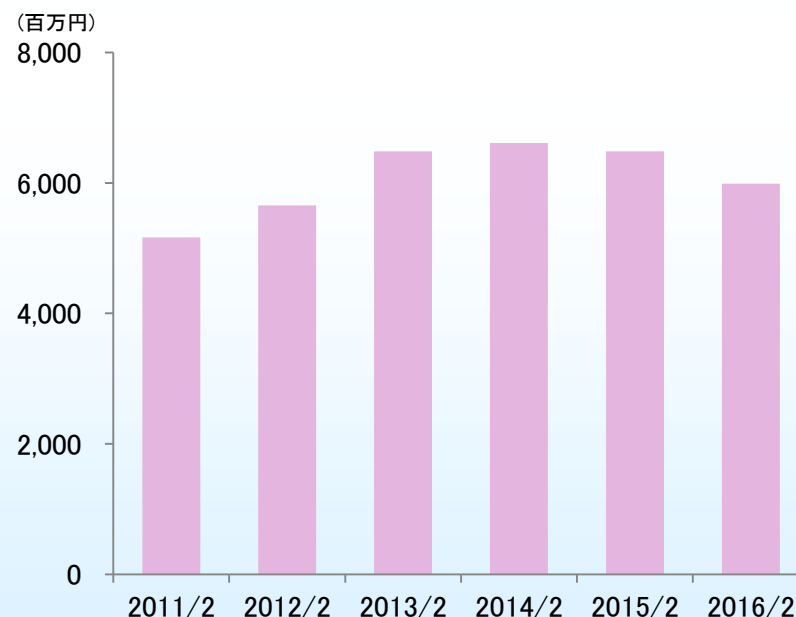
化成品部門の動向

- 医薬品添加剤は、GE薬メーカー向け販売好調。
- 食品品質保持剤は新製品上市。

化成品部門の売上構成



化成品部門売上高推移



グループ力融合で加速する製品開発

- 微小粒DDS※製剤技術の早期実用化
- FREUND－VECTOR社とのシナジー最大化
- フロイント・ターボ社技術との相互補完効果

FREUND－VECTOR

グローバルに情報を共有化することでいち早く市場ニーズをつかむ。当社の開発力に米国子会社の設計力と製造力が融合することで新製品の開発スピードが加速。

&

フロイント・ターボ

造粒・コーティング技術と旧ターボ社の粉砕・分級技術は、粉体加工技術として、相互補完の関係。両技術の融合で、幅広い分野に粉体加工技術を提供。

(※)DDS:Drug Delivery system

製品開発の歴史

	機械	化成品
1964	自動フィルムコーティング装置	フィルムコーティング液
1965		HPC、HPS
1966		パーフィラー-101、ラブリワックス-101
1967		CMEC
1969	流動層造粒コーティング装置〈フローコーター〉	イチゴ用食品品質保持剤〈アンチモールド-101〉
1970	乾式造粒装置〈ローラーコンパクター〉	医薬品添加剤〈ダイラクトーズ〉
1971	自動糖衣・フィルムコーティング装置〈ハイコーター〉	食品品質保持剤〈アンチモールド-102〉
1972		医薬品添加剤〈ノンパレル-101〉
1975	遠心流動型コーティング造粒装置〈CFグラニュレーター〉	医薬品添加剤〈ノンパレル-103〉
1978		
1981	複合型流動層造粒コーティング装置〈スパイラフロー〉	
1982		
1983	〈水分活性測定器〉	
1987		多機能型食品品質保持剤〈ネガモールド〉
1988	水系コーティング装置〈アクアコーター〉	栄養補助食品〈活性化イチヨウ葉エキス〉
1990	製剤工程自動制御システム〈ファーマトロニクス〉	
1991	シームレス ミニカプセル装置〈スフェレックス〉	医薬品添加剤〈ノンパレル-105〉
1994	粒子形状測定装置〈グラニュトロニクス〉	
2000	遠心転動造粒コーティング装置〈グラニュレックス〉	
2001	ロータリー式流動層造粒乾燥装置〈テクトランサー〉	
2002		エタノール蒸散持続型食品品質保持剤〈アンチモールド・テンダー〉
2003		食品用コーティング基剤〈水性シェラック液〉、食品添加剤〈パーフィラー-102〉
2005	ツインスクリー式乾燥造粒器〈ローラーコンパクター〉	
	アンチモールド自動検知器〈アンチモールド ディレクター〉	
2006	食品・健康食品用全自動コーティング装置〈ハイコーターFPC〉	医薬品添加剤〈ノンパレル108〉、医薬品添加剤〈ポリシングワックス-105〉
		食品添加剤〈ポリシングワックス-104〉
2008	キトサンコーティング技術開発	
	自動錠剤コーティング装置〈ハイコーターFZ〉	
2009	流動層造粒コーティング装置〈フローコーターUniversal〉	
	粉粒体輸送用コンテナ洗浄装置〈コンテナ洗浄装置〉	
2010	高速攪拌造粒装置〈グラニュマイスト〉	医薬品添加剤〈グラニュツール〉
	湿式/乾式造粒器〈ミルマイスト〉	食品添加剤〈フーズガード〉
2012		食品品質保持剤〈ネガモールドナチュラル、ネガモールドライト〉
2013		食品添加剤〈マルチツールグラニュー〉、〈イソマルトグラニュー〉
		直打用乳糖〈ダイラクトーズF(ファイン)〉
2014	錠剤印刷装置〈TABREX〉	口腔内崩壊錠用直打用賦形剤〈グラニュートールF(ファイン)〉

四半期業績推移

(単位:百万円)

	2015年2月期				2016年2月期				2017年2月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
機械部門受注高	3,648	2,549	3,016	3,192	3,833	2,900	2,938	3,440	3,689	4,716		
機械部門受注残高	6,945	7,235	7,225	6,682	8,900	8,676	7,976	7,086	8,318	9,765		
連結売上高	3,506	3,865	4,639	5,413	3,002	4,694	5,384	5,945	3,912	4,850		
機械部門	1,794	2,248	3,105	3,792	1,826	3,166	3,671	4,373	2,413	3,284		
化成品部門	1,711	1,616	1,533	1,620	1,176	1,528	1,713	1,572	1,498	1,566		
連結セグメント利益	△20	121	483	565	△24	223	528	619	295	392		
機械部門	47	77	486	496	△9	161	425	611	220	347		
化成品部門	80	112	128	151	81	137	185	114	178	178		
全社、消去	△149	△67	△131	△83	△97	△75	△82	△106	△103	△133		
為替(円/ドル)	102.8	102.5	102.9	105.8	119.2	120.3	121.0	121.1	115.4	111.7		

(注) 為替は、暦年ベースの四半期平均

〈お問い合わせ先〉
フロイント産業株式会社
コーポレート・コミュニケーション部

TEL:03-6890-0767
FAX:03-6890-0870
E-Mail : ir@freund.co.jp

当社IRサイトもご覧ください。 <http://www.freund.co.jp>

本資料には当社の計画、見通し、経営戦略および経営方針に基づいた「将来予測に関する記載」が含まれております。この「将来予測に関する記載」には発表日時点までに入手可能な情報に基づいた経営判断や前提が述べられております。そのため諸与件の変化により、実際の業績は「将来予測に関する記載」とは異なる結果となる可能性があります。従って本資料における業績予想などの「将来予測に関する記載」が将来に亘って正確であることを保証するものではないことを、ご了解いただきますようお願い致します。なお、掲載内容について当社はあらゆる面から細心の注意を払っておりますが、それらには誤りやタイプミス等が含まれる可能性があります。